

# 福井県感染症発生動向調査速報

<<平成18年>>

発行日：平成18年4月5日  
<週報> 第13週（平成18年3月27日～4月2日）発行：福井県健康福祉部健康増進課  
福井県衛生環境研究センター  
kansen@erc.pref.fukui.jp

## 注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎226名(10.27名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎55名(2.50名) インフルエンザ59名(1.84名) 水痘31名(1.41名) 流行性角結膜炎4名(1.33名) ( )内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(226名) インフルエンザ(59名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(55名) 水痘(31名) 咽頭結膜熱(26名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は226名です。定点当たり患者報告数は減少しました(11.09名 10.27名)。地域別にみると福井地区18.57名、丹南地区9.8名、坂井地区7.33名、二州地区6.33名、奥越地区2.50名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は55名です。定点当たり患者報告数は減少しました(3.41名 2.50名)。地域別にみると奥越地区5.50名、坂井地区2.67名、福井地区2.43名、丹南地区2.40名、二州地区1.67名の順となっています。
- 【インフルエンザ】報告数は59名です。定点当たりの報告数は減少しました(4.09名 1.84名)。地域別にみると福井地区3.0名、二州地区2.50名、奥越地区1.33名、坂井地区1.33名、丹南地区0.88名の順となっています。
- 【水痘】報告数は31名です。定点当たりの患者報告数は減少しました(2.0名 1.41名)。地域別にみると丹南地区3.0名、坂井地区2.33名、奥越地区1.0名、福井地区0.86名、若狭地区0.50名、の順となっています。

## 感染症週報全国版の要点

2006年第11週号(3月13日～3月19日)要点

発生動向総覧	<第11週> 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比較してかなり多い <2月>性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
注目すべき感染症	<水痘> 2006年では第9週以降、例年よりも報告数がやや多い状態である
病原体情報	インフルエンザウイルス 2005/06シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	エジプトの鳥インフルエンザ流行状況 / アフリカ髄膜炎ベルトでの髄膜炎流行 / タイでのボツリヌス中毒の発生 / スーダン南部でのコレラ流行 / カンボジアでの鳥インフルエンザ流行状況 / 中国での鳥インフルエンザ流行状況
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)]      平成18年 第13週      平成18年3月27日(月)～平成18年4月2日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(12週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	33 3	4 1.33	10 2.5	1 0.33	4 1.33	7 0.88	59 1.84	131 4.09	11496 2.45
小児科 (22)	RSウイルス感 染症								3 0.09	205 (11週)
	咽頭結膜熱	9 1.29	4 1.33	5 1.67	1 0.5	6 3	1 0.2	26 1.18	25 1.14	1180 0.39
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	17 2.43	8 2.67	5 1.67	2 1	11 5.5	12 2.4	55 2.50	75 3.41	6682 2.20
	感染性胃腸炎	130 18.57	22 7.33	19 6.33	1 0.5	5 2.5	49 9.8	226 10.27	244 11.09	21746 7.15
	水痘	6 0.86	7 2.33		1 0.5	2 1	15 3	31 1.41	44 2	6756 2.22
	手足口病						5 1	5 0.23	2 0.09	249 0.08
	伝染性紅斑	1 0.14						1 0.05		938 0.31
	突発性発しん	7 1			1 0.5	2 1	4 0.8	14 0.64	12 0.55	1748 0.58
	百日咳									34 0.01
	風しん			2 0.67				2 0.09		14 0.00
	ヘルパンギー ナ				2 1		2 0.4	4 0.18	1 0.05	170 0.06
	麻しん(成人麻し んを除く)									7 0.00
眼科 (3)	流行性耳下腺 炎	4 0.57			3 1.5	7 3.5	1 0.2	15 0.68	9 0.41	4635 1.52
	急性出血性結膜 炎						2 2	4 1.33	1	19 0.03
基幹 (6)	流行性角結膜 炎	2 1								495 0.77
	細菌性髄膜炎								1 0.17	5 0.01
	無菌性髄膜炎									5 0.01
	マイコプラズマ肺 炎	2 1						2 0.33	1 0.17	116 0.25
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)	1 0.5						1 0.17		5 0.01
成人麻しん									0	

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第11週分である。